

## 2017 年度日本語教育特別講演会報告

笈川幸司(日本語学習サロン ジャスロン代表)

日時:2017年4月29日(土)

場所:日本台湾交流協会台北事務所B1文化ホール

テーマ:中国語母語話者を対象とした効果的な音声指導の実践

### 【概要】

今日から使える発音指導、スピーチ指導、会話指導について

### 【前半:発音指導について】

中国語母語話者の発音の問題解決のために、口の形を「い」で話し続けることです。「あ段」をすべて「い」の口の形で話すのは難しいですが、多少口が開いても、問題はありません。拍の問題を解決するために、特殊音の部分になにかほかの文字を入れて練習すると拍の問題を解決できません。たとえば、「グッチのバッグ」なら「グツチのバツグ」というように、小さなツの代わりに大きなツを入れて発音練習をします。アクセントの問題については、峯松研究室が開発された OJAD (<http://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/>)を紹介しました。

### 【後半:ワークショップ】

今回提示した「型」を利用して、1分間の発話練習を行いました。また、同じテーマに関する自分の(同じ)意見を違う相手に話すことで、どんどん流暢に話せるようになる体験を、先生方にしてもらいました。1対1で、同じテーマについて自分の意見を1分ずつ話すことで、相手の意見を次に機会に取り入れることができます。最終的に5人の相手に話をすると、流暢に話せるようになるだけでなく、無駄な部分を消去し、相手から聞いた必要な部分を補足することで、自分の実力以上の表現をすることができるようになり、自信がつかます。

### 【総評】

第一部は、質問に答えながら話を進めていくスタイルを取りましたが、今回いただいた質問はどれも、ほかの先生も共有できる悩み、問題で有意義な時間になりました。第二部では、学生が授業中に上達する過程を、先生方に実際に体験していただきましたので、すぐに授業に使ってもらえるものと思います。